



東京・宮城・福島・岩手 各労働局長登録教習機関

労働安全衛生速報

2009年9月1日号

企画/編集 安全教育センター
ゼロ災でヨシ 事故ないよー
TEL.0120-031404 FAX.0120-457140
〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3-21 上杉Nビル5階
TEL.022(267)4207 FAX.022(267)4285
Eメール info@anzen-pro.com
URL http://www.anzen-pro.com

当センターの許可なく、全部又は一部を無断で転写、複製することを禁じます。

第60回 全国労働衛生週間

スローガン

『トップが決意 みんながつくる
心の健康・明るい職場』

本週間 2009 10/1 ~ 7

準備期間 2009 9/1 ~ 30

[建設機械等]解体作業中、重機にひかれ作業員死亡 2009.8.1

福岡・二丈町の小学校体育館解体作業現場で、作業員の女性(60歳)が、同じ作業員男性(61歳)運転のパワーショベルにひかれ死亡。女性は重機の近くでかがんで廃材の回収作業をしていたという。

[書類送検]とび職の死亡事故で2法人など書類送検 2009.8.3

埼玉・春日部労働基準署は、労働安全衛生法違反の疑いで、元請けの建売業者と下請けの建設業者の2社と、現場監督の男性(26歳)、クレーンを操作していた大工の男性(57歳)ら4人を地検に書類送検した。昨年12月、木造住宅の建築現場で、とび職の男性(19歳)が落下した木製コンパネ材(約500kg)に当たり死亡した。安全管理に必要な現場立ち会いなどの措置を講じていなかったほか、移動式クレーンの運転についての合図を決めておらず、クレーンの操作者も法令で定められた「玉掛け」の資格を持っていなかったなどの疑い。

[その他]作業船が転覆、男性作業員死亡 2009.8.4

北海道・豊富町の漁港で、建設会社の作業船が転覆し、会社員の男性(71歳)が海中に投げ出された。男性は捜索していたダイバーに発見されたが、収容先の病院で死亡が確認。作業船は全長6.3mの小型で、クレーン船(1200kg)と接触して転覆したとみられる。男性は救命胴衣をつけていたが、クレーン船の下に潜り込み、海面に浮かび上がれなかったらしい。

[挟まれ]ビル解体作業中、落下片に挟まれ重傷 2009.8.4

群馬・高崎市のビル解体工事現場で、重機を使って作業をしていた会社役員の男性(53歳)が、落下してきた建物のコンクリートの屋根部分と重機の間で挟まれ、骨盤を折るなどの重傷。男性は解体を請け負っていた会社の経営者で、従業員5人と建物の3階の屋根を解体する作業をしていた。

[その他]工事現場で作業員死亡 2009.8.6

岡山・倉敷市の土木工事現場で、土木作業員の男性(65歳)が、うつぶせで倒れているのを同僚が発見。男性は病院に運ばれたが、ろっ骨や足の骨が折れており、死亡が確認された。工事は急斜面ののり面の崩落防止工事で、当時男性らは8人で竹林の伐採作業に従事していた。当時の状況や原因を調査中。

[書類送検]墜落防止策怠り書類送検 2009.8.7

静岡・磐田労働基準署は、労働安全衛生法違反の疑いで、建設会社と同社主任工事長(35歳)、下請けの鉄骨工事業者(39歳)、鉄骨工の男性(39歳)を地検に書類送検した。2月2日、工場工事現場で、昇降設備の設置などの墜落防止策を怠り、自営業の男性(当時31歳)が、高さ9mのはり付近から墜落し、死亡する労災事故を起こした疑い。

[墜落・転落]足場から転落、作業員重体 2009.8.10

秋田市の市営住宅建設現場で、解体作業員の男性(54歳)が、高さ約3.5mの足場から転落。男性は市内の病院に運ばれたが、頭の骨を折り意識不明の重体。男性が作業用の足場から建物1階の玄関のひさしに移ろうとしてバランスを崩し、誤ってコンクリートの地面に転落したとみている。男性らは建物外壁の型枠の解体を行う予定だった。男性はヘルメットをかぶっていたが、安全帯は付けていなかったという。

[感電]作業員が送電線に接触、死亡 2009.8.10

大阪市の新築マンション建築現場で、建設作業員の男性(20歳)が、地下1階の壁にダクトを設置していたところ、壁に埋設されていた200ボルトの電気が流れる送電線に触れて感電し、搬送先の病院で死亡。送電線には絶縁テープが巻かれていたが、一部がはがれ落ちていたという。

[書類送検]危険防止措置取らず男性死亡、書類送検 2009.8.10

石川・七尾労働基準署は、労働安全衛生法違反の疑いで、土木業者と同社現場代理人の男性(32歳)を地検に書類送検した。同社は3月5日、道路消雪装置撤去の工事現場で、誘導員を置くなどの危険防止措置を取らず、男性作業員(当時59歳)に配管の切断作業をさせた疑い。男性作業員は配管が通る溝のコンクリート壁とショベルカーに頭を挟まれて死亡した。

[墜落・転落]フォークリフト操作中転落、男性死亡 2009.8.11

長崎・西海市の建設会社敷地内で、男性中国人の研修生(20歳)が、フォークリフト操作中、約10m下の道路にリフトごと転落。男性はリフトの下敷きになり、病院に搬送されたが約4時間半後に死亡。関係者は「運転の業務命令はしていない」と話しているという。

[墜落・転落]測量中に建設会社社員転落死 2009.8.17

岐阜・郡山市の市道のり面で、測量作業をしていた建設会社社員の男性(53歳)が、高さ約20mから転落。頭などを打ち、病院に運ばれたが脳挫傷で死亡。男性は同僚3人と高さ20mののり面地すべり防止工事のはがれたモルタル部分で、補修工事方法の検討のため、はがれた部分の面積や厚みを計測中に転落。地面近くまで、のり面とモルタル部を覆う金網の間をぶつかりながら落ちた。

